

測量成果電子納品要領(案)

平成 23 年 4 月

香 川 県 土 木 部

測量成果電子納品要領(案)

<目次>

1	適用	1
2	フォルダ構成	2
2-1	全体構成	2
2-2	サブフォルダ構成	10
3	成果品の管理項目	28
3-1	測量情報管理項目	28
3-2	測量成果管理項目	37
3-3	ドキュメント管理項目	40
4	ファイル形式	41
4-1	基準点測量成果ファイル	44
4-2	水準測量成果ファイル	47
4-3	地形測量及び写真測量成果ファイル	50
4-4	路線測量成果ファイル	64
4-5	河川測量成果ファイル	71
4-6	用地測量成果ファイル	80
4-7	その他の応用測量成果ファイル	86
4-8	ドキュメントファイル	87
5	ファイルの命名規則	88
5-1	管理ファイル等	88
5-2	測量成果ファイル等	89
5-3	ドキュメントファイル	106
6	検符等及び第三者機関検定	107
6-1	検符及び押印	107
6-2	第三者機関検定	108
7	電子媒体	109
7-1	電子媒体の表記規則	109
8	その他留意事項	110
8-1	電子化が困難な資料の取り扱い	110
8-2	測地系	110
付属資料 1	管理ファイルの DTD	付 1-1
付属資料 2	管理ファイルの XML 記入例	付 2-1
付属資料 3	成果表フォーマット	付 3-1
付属資料 4	CAD データ作成に当たっての留意点	付 4-1

1 適用

「測量成果電子納品要領(案)」(以下「本要領」という)は、香川県が発注する測量作業で香川県公共測量作業規程で定められた測量成果等を電子的手段により提出する際の基準を定めたものである。

【解説】

本要領は、表 1-1に示される共通仕様書((案)を含む)及び特記仕様書に規定される成果品に適用することを基本とし、香川県公共測量作業規程に従って作成される測量成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

なお、本要領は、世界測地系に準拠して行われる測量業務に適用されるものとする。また、本要領で定められていない電子媒体、使用文字等の電子納品の通則は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」による。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	測量作業共通仕様書	香川県土木部

本要領は、国土交通省「測量成果電子納品要領(案)平成20年12月」に準拠している。

2 フォルダ構成

2-1 全体構成

電子的手段により引き渡される測量成果品は、図 2-1に示されるフォルダ構成とする。

電子媒体のルート直下には、「**SURVEY**」フォルダ及び業務管理ファイルを置く。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

「**SURVEY**」フォルダの下には、「**KITEN**」、「**SUIJUN**」、「**CHIKEI**」、「**ROSEN**」、「**KASEN**」、「**YOUCHI**」、「**OTHRISOYO**」、「**DOC**」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

また、「**KITEN**」、「**SUIJUN**」、「**CHIKEI**」、「**ROSEN**」、「**KASEN**」、「**YOUCHI**」、「**OTHRISOYO**」の各フォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他データ」を格納するための「**WORK**」、「**DATA**」、「**OTHR**」サブフォルダをそれぞれ作成する。

格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

サブフォルダの構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。また、各サブフォルダに格納するファイルは、次による。

- 「**KITEN**」サブフォルダには、基準点測量の成果等及び基準点測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「**SUIJUN**」サブフォルダには、水準測量の成果等及び水準測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「**CHIKEI**」サブフォルダには、地形測量及び写真測量の成果等及び地形測量及び写真測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「**ROSEN**」サブフォルダには、路線測量の成果等及び路線測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「**KASEN**」サブフォルダには、河川測量の成果等及び河川測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合

わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

- 「YOUCHI」サブフォルダには、用地測量の成果等及び用地測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「OTHRISOYO」サブフォルダには、その他の応用測量の成果等及びその他の応用測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「DOC」サブフォルダには、当該測量業務に関するドキュメントファイル(製品仕様書、特記仕様書等)及びドキュメント管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(留意事項)

- フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- フォルダ構成図のフォルダの順番は例示であり、表の順番はこれによるものではない。

【解説】

(1) 電子媒体ルート

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートに格納する「業務管理ファイル」は、「業務管理項目」(業務の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。「業務管理ファイル」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」による。業務管理ファイルを規定する DTD 「INDE_Dnn.DTD」及び XSL 「INDE_Dnn.XSL」(nn はバージョン番号を表す。)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(2) SURVEYフォルダ(測量データフォルダ)

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」(測量情報の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。「測量情報管理項目」の詳細は、「3-1 測量情報管理項目」による。測量情報管理ファイルを規定するDTD 「SURVEY03.DTD」及びXSL 「SURVEY03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(3) KITENサブフォルダ(基準点測量サブフォルダ)

1) 基準点測量成果管理ファイル

「KITEN」サブフォルダに格納する「基準点測量成果管理ファイル」は、「基準点測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_KTN.XML」とする。「基準点測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

基準点測量の測量記録^(注1)を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

基準点測量の測量成果^(注2)を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

基準点測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない基準点測量の成果等を格納する。

(注1) 測量記録とは、測量作業の工程で得られる測量成果以外の記録・資料等の成果等である(成果等の詳細は、表 2-3参照)。

(注2) 測量成果とは、測量作業の最終工程で得られる成果等で、本要領で規定するものである(成果等の詳細は、表 2-3参照)。国土交通省公共測量作業規程では、測量分類又は測量細分類ごとに整理すべき成果等を明示している。本要領では、「測量記録」、「測量成果」に区分して納品する。

(4) SUIJUNサブフォルダ(水準測量サブフォルダ)

1) 水準測量成果管理ファイル

「SUIJUN」サブフォルダに格納する「水準測量成果管理ファイル」は、「水準測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_SJN.XML」とする。「水準測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

水準測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

水準測量の測量成果を格納する。本サブフォルダの以下に含まれるサブフォル

ダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

水準測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない水準測量の成果等を格納する。

(5) CHIKEIサブフォルダ(地形測量及び写真測量サブフォルダ)

1) 地形測量及び写真測量成果管理ファイル

「CHIKEI」サブフォルダに格納する「地形測量及び写真測量成果管理ファイル」は、「地形測量及び写真測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_CHI.XML」とする。「地形測量及び写真測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

地形測量及び写真測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

地形測量及び写真測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

地形測量及び写真測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない地形測量及び写真測量の成果等を格納する。

(6) ROSENサブフォルダ(路線測量サブフォルダ)

1) 路線測量成果管理ファイル

「ROSEN」サブフォルダに格納する「路線測量成果管理ファイル」は、「路線測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_RSN.XML」とする。「路線測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

路線測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

路線測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

路線測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない路線測量の成果等を格納する。

(7) KASENサブフォルダ(河川測量サブフォルダ)

1) 河川測量成果管理ファイル

「KASEN」サブフォルダに格納する「河川測量成果管理ファイル」は、「河川測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_KSN.XML」とする。「河川測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

河川測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

河川測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

河川測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない河川測量の成果等を格納する。

(8) YOUCHIサブフォルダ(用地測量サブフォルダ)

1) 用地測量成果管理ファイル

「YOUCHI」サブフォルダに格納する「用地測量成果管理ファイル」は、「用地測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_YCH.XML」とする。「用地測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

用地測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

用地測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ

構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

用地測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない用地測量成果を格納する。

(9) OTHRSOYOサブフォルダ(その他の応用測量サブフォルダ)

1) その他の応用測量成果管理ファイル

「OTHRSOYO」サブフォルダに格納する「その他の応用測量成果管理ファイル」は、「その他の応用測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_OYO.XML」とする。「その他の応用測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

その他の応用測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

その他の応用測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

その他の応用測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていないその他の応用測量成果を格納する。

(10) DOCサブフォルダ(ドキュメントサブフォルダ)

1) ドキュメント管理ファイル

「DOC」サブフォルダに格納する「ドキュメント管理ファイル」は、「ドキュメント管理項目」をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_DOC.XML」とする。「ドキュメント管理項目」の詳細は、「3-3 ドキュメント管理項目」による。ドキュメント管理ファイルのDTD「SDOC_D01.DTD」及びXSL「SDOC_D01.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) ドキュメントファイル

「DOC」サブフォルダには、「ドキュメントファイル」を格納する。表 2-1に示す当該測量作業のドキュメントを、「DOC」サブフォルダ直下に格納する。「DOC」フォルダは、細分しない。

表 2-1 ドキュメントファイルの種類

成果品の名称	備考
製品仕様書	当該測量作業の基となった製品仕様書
特記仕様書	当該測量作業の基となった特記仕様書 発注者から電子データで提供された場合のみ格納する。
協議書	作業期間中にやりとりされた協議書
実施報告書	実施報告、現場写真、案内図等

(11) REPORT、DRAWING、PHOTO、BORINGフォルダの扱い

測量作業のみの成果等の電子納品では原則として使用しない。ただし、地質・土質調査、設計など他の業務等と合わせて測量作業が発注された場合など、本要領に規定されていない電子成果品の提出が必要な場合は、電子成果品の取扱いや他の電子納品要領(案)・基準(案)の適用について受発注者間協議により定める。

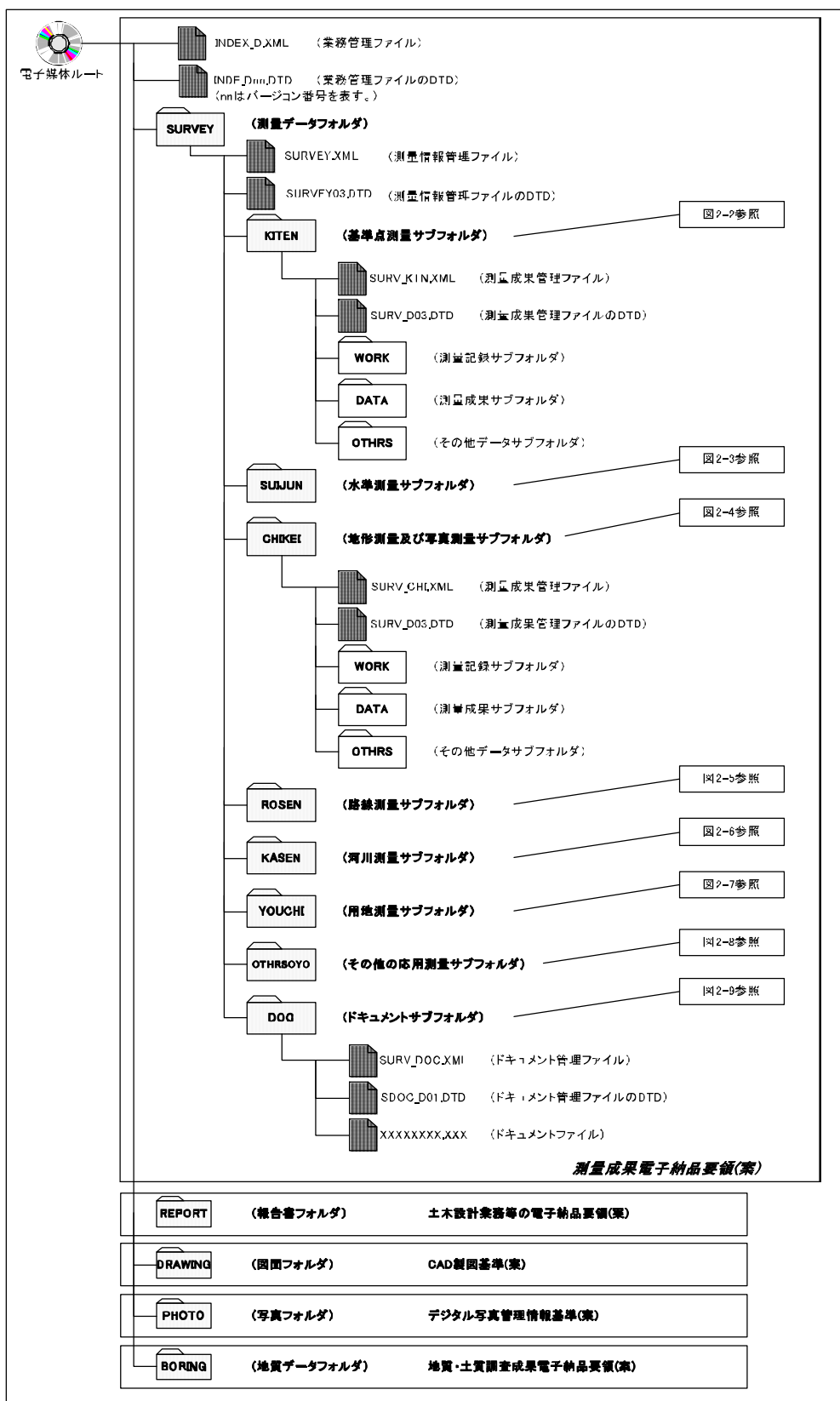


図 2-1 フォルダ構成 (全体構成)

2-2 サブフォルダ構成

「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」サブフォルダ以下の「WORK」、「DATA」サブフォルダには、実施した測量作業と、測量地域又は測量精度に応じて測量細区分を示すサブフォルダを作成し、成果等を格納する。測量細区分を示すサブフォルダ名は、表 2-2による。

【解説】

測量成果等を格納するフォルダは、8つのサブフォルダ「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」、「DOC」から構成される。「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」、「DOC」サブフォルダ構成は、図 2-2～図 2-9による。

「DOC」を除く各フォルダには、測量作業の途中段階である測量記録(観測手簿、観測記簿等)、最終的な測量成果(成果表、数値地形図データファイル等)、その他のデータ(各種証明書、説明書等)を分類して格納するための「WORK」、「DATA」、「OTHRIS」サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。

成果区分、測量細区分ごとの成果等の一覧は、表 2-3による。

例：「KITEN」サブフォルダは、次のサブフォルダにより構成される。

- 「WORK」サブフォルダ(測量記録を格納)
- 「DATA」サブフォルダ(測量成果を格納)
- 「OTHRIS」サブフォルダ(その他データを格納)

「WORK」、「DATA」サブフォルダは、実施した測量作業(撮影、空中三角測量等)に応じて細分し、さらに、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、A～Z, 1～9の記号によって補助的に区分した細区分サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。これらのサブフォルダは、表 2-2による。

例：「CHIKAI/WORK」サブフォルダを、撮影(2地区)、空中三角測量(2地区)で細区分した場合

- CHIKAI/WORK/SATU_A
- CHIKAI/WORK/SATU_B
- CHIKAI/WORK/KUSAN_A
- CHIKAI/WORK/KUSAN_B

なお、測量区分内で測量作業を細区分しない場合は、Aの記号を割り当てる。

例：「KITEN/WORK」サブフォルダを測量作業で細区分せず、1つのサブフォルダを作成する場合

- KITEN/WORK/KTN_A

表 2-2 測量細区分とサブフォルダ構成

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN /OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJM_*>	/SUIJUN /WORK/SJM_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJM_*>	/SUIJUN /DATA/SJM_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN /OTHR
地形測量及び写真測量 <CHIKI>	測量記録 <WORK>	現地測量 <TSGPS_*>	/CHIKI /WORK/TSGPS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKI /WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKI /WORK/KUSAN_*
		数値図化 <ZUKA_*>	/CHIKI /WORK/ZUKA_*
		既成図数値化 <MPDG_*>	/CHIKI /WORK/MPDG_*
		写真地図作成 <ORTH_*>	/CHIKI /WORK/ORTH_*
		航空レーザ測量 <LASE_*>	/CHIKI /WORK/LASE_*
	地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKI /WORK/ZUHEN_*	
	その他の地形測量及び写真測量 <OCHK_*>	/CHIKI /WORK/OCHK_*	
	測量成果 <DATA>		/CHIKI /DATA/
	その他データ <OTHR>		/CHIKI /OTHR
路線測量	測量記録	中心線測量	/ROSEN

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
<ROSEN>	<WORK>	<RCYUSN_*> 縦横断測量	/WORK/RCYUSN_* /ROSEN /WORK/RZYUO_*
		<RZYUO_*> 詳細測量	/ROSEN /WORK/RSYOS_*
		<RSYOS_*> 幅杭測量	/ROSEN /WORK/RHABA_*
	測量成果 <DATA>	中心線測量	/ROSEN /DATA/RCYUSN_*
		<RCYUSN_*> 縦横断測量	/ROSEN /DATA/RZYUO_*
		<RZYUO_*> 詳細測量	/ROSEN /DATA/RSYOS_*
		<RSYOS_*> 幅杭測量	/ROSEN /DATA/RHABA_*
その他データ <OTHR>		/ROSEN /OTHR	
河川測量 <KASEN>	測量記録 <WORK>	距離標設置測量	/KASEN /WORK/WKYOR_*
		<WKYOR_*> 定期縦横断測量	/KASEN /WORK/WZYUO_*
		<WZYUO_*> 深淺測量	/KASEN /WORK/WSINS_*
		<WSINS_*> 法線測量	/KASEN /WORK/WHOSE_*
		<WHOSE_*> 海浜・汀線測量	/KASEN /WORK/WKAINA_*
	測量成果 <DATA>	<WKAINA_*> 距離標設置測量	/KASEN /DATA/WKYOR_*
		<WKYOR_*> 定期縦横断測量	/KASEN /DATA/WZYUO_*
		<WZYUO_*> 深淺測量	/KASEN /DATA/WSINS_*
		<WSINS_*> 法線測量	/KASEN /DATA/WHOSE_*
		<WHOSE_*> 海浜・汀線測量	/KASEN /DATA/WKAINA_*
その他データ <OTHR>		/KASEN /OTHR	
用地測量 <YOUCHI>	測量記録 <WORK>	資料調査	/YOUCHI /WORK/YSIRYO_*
		<YSIRYO_*> 境界確認	/YOUCHI /WORK/YKYOK_*
		<YKYOK_*> 境界測量	/YOUCHI /WORK/YKYOS_*
		<YKYOS_*>	

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI /WORK/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /WORK/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /WORK/YZISKZ_*
	測量成果 <DATA>	資料調査 <YSIRYO_*>	/YOUCHI /DATA/YSIRYO_*
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI /DATA/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /DATA/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /DATA/YZISKZ_*
		その他データ <OTHR>	/YOUCHI /OTHR
その他の応 用測量 <OTHRSO YO>	測量記録 <WORK>	その他の応用測量 <OYO_*>	/OTHRSOYO /WORK/OYO_*
	測量成果 <DATA>	その他の応用測量 <OYO_*>	/OTHRSOYO /DATA/OYO_*
	その他データ <OTHR>		/OTHRSOYO /OTHR

(注 1) *には、A～Z, 1～9 の記号を割り当て、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、補助的に細区分する

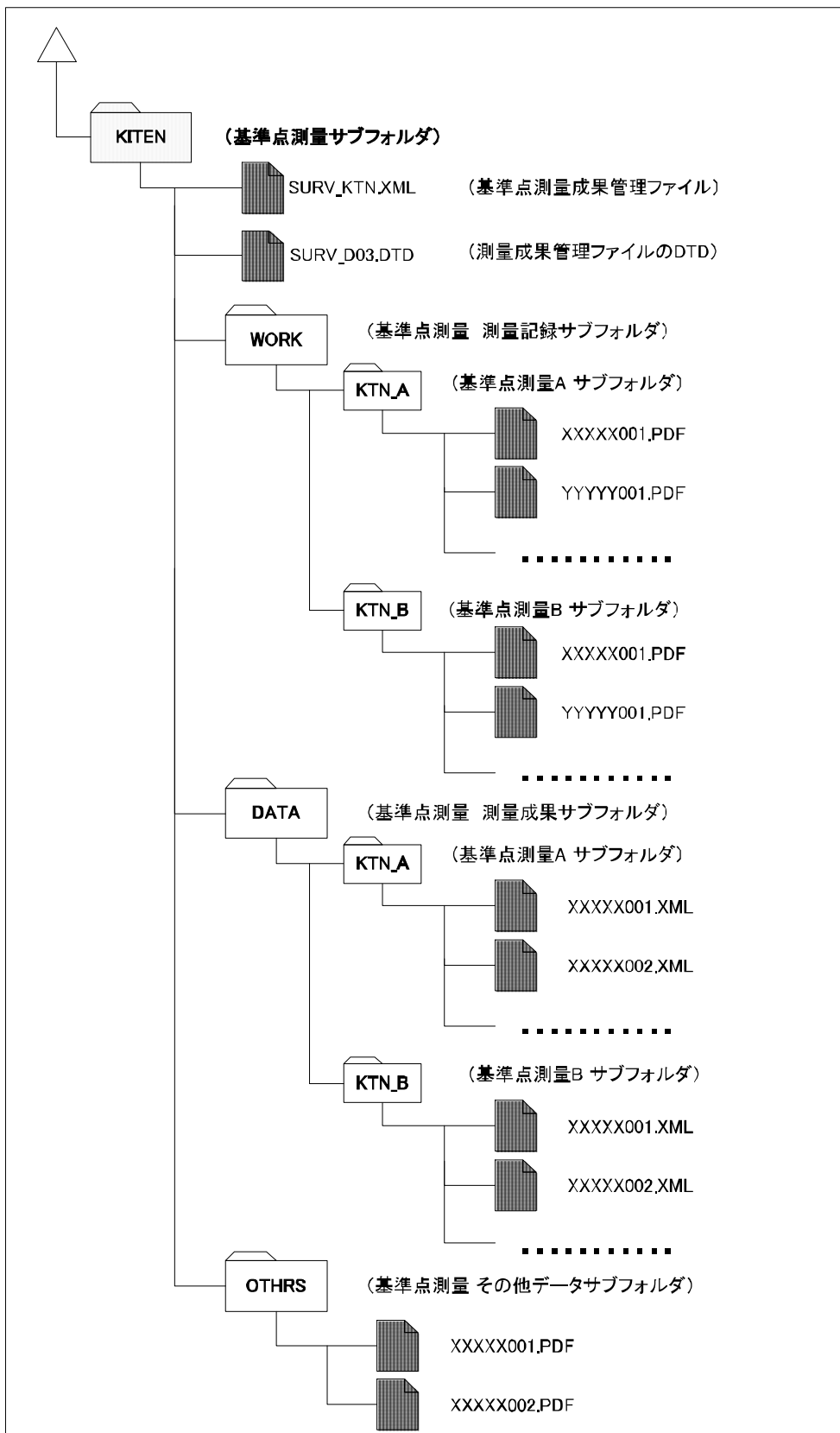


図 2-2 「KITEN」サブフォルダ構成

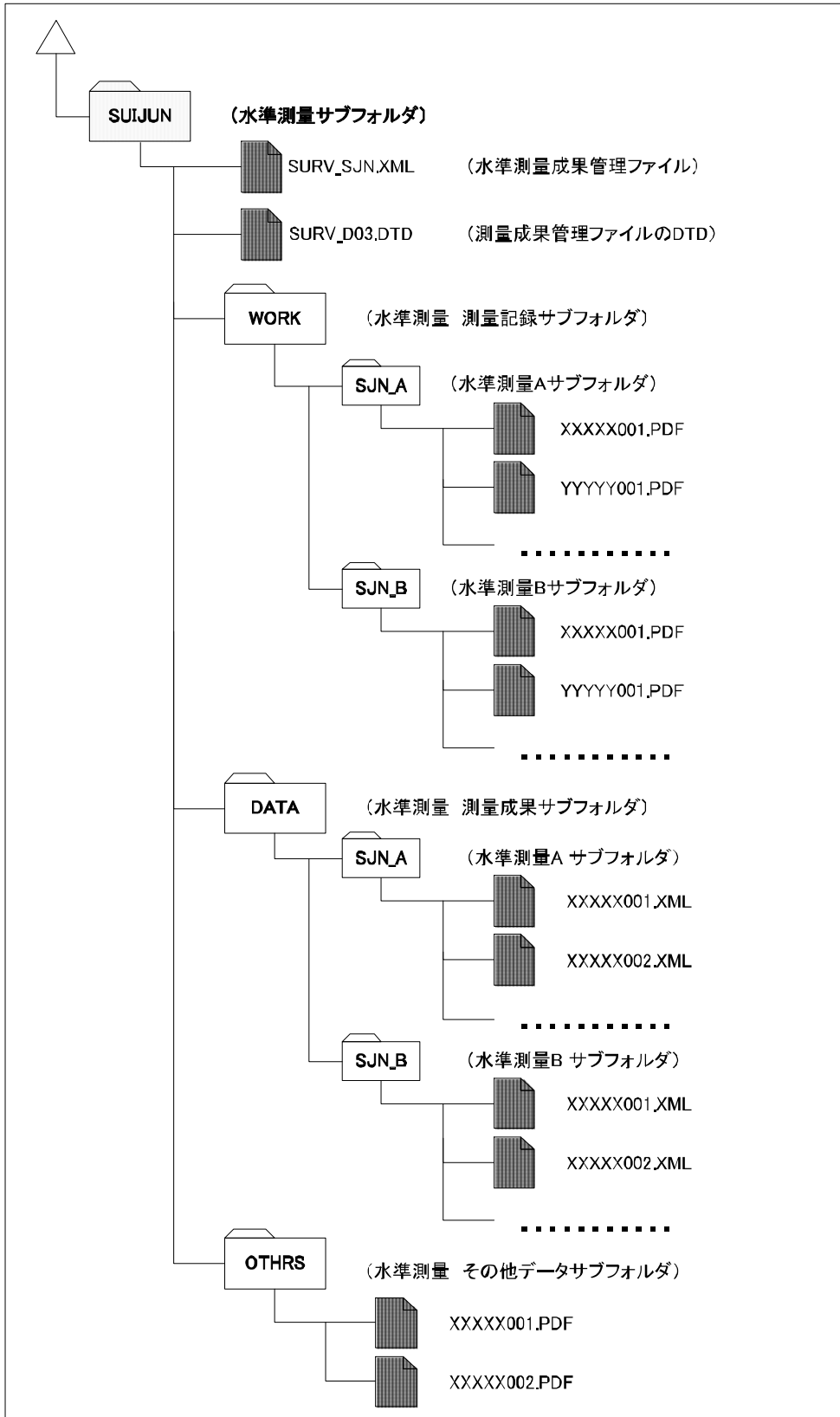


図 2-3 「SUIJUN」サブフォルダ構成

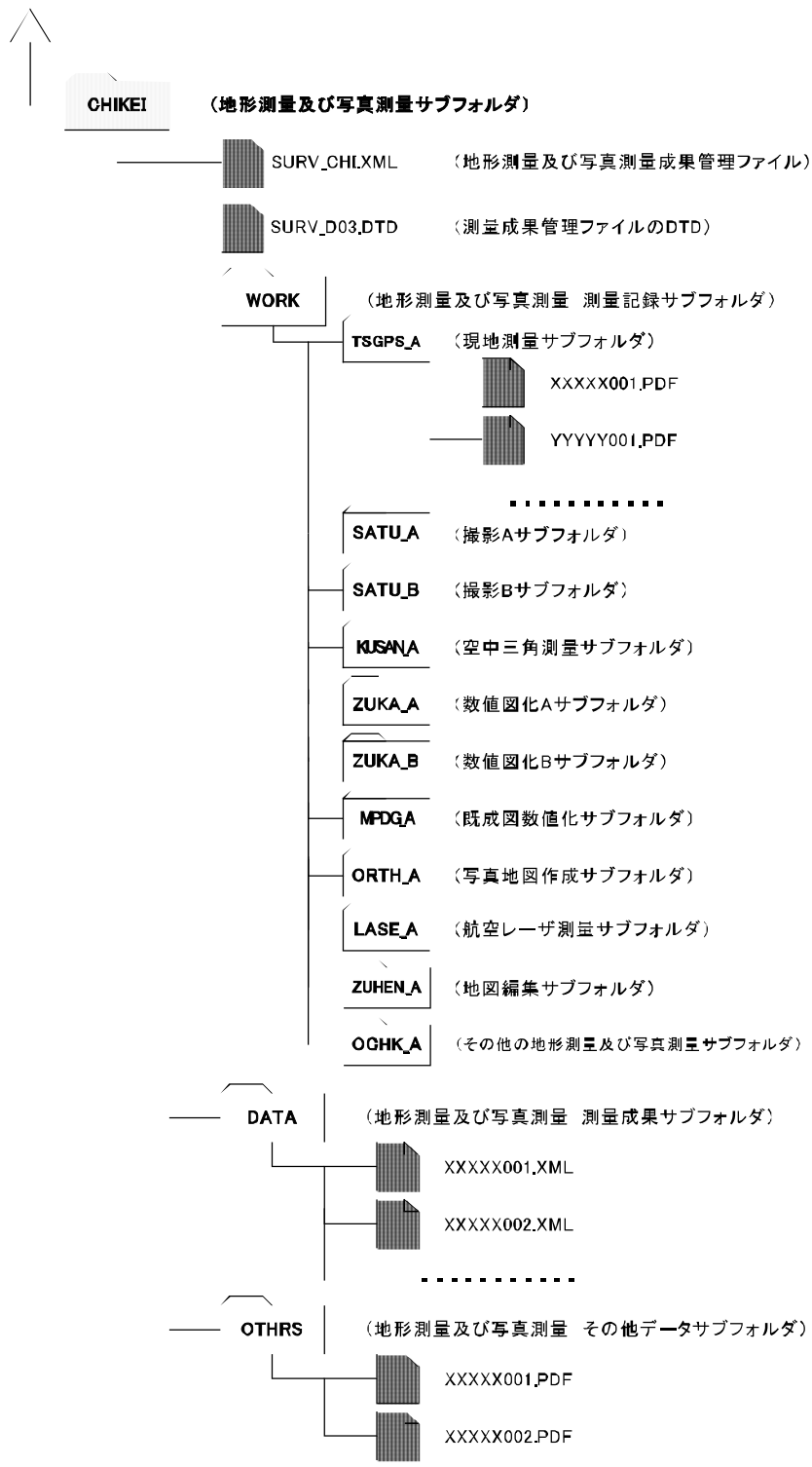


図 2-4 「CHIKEI」サブフォルダ構成

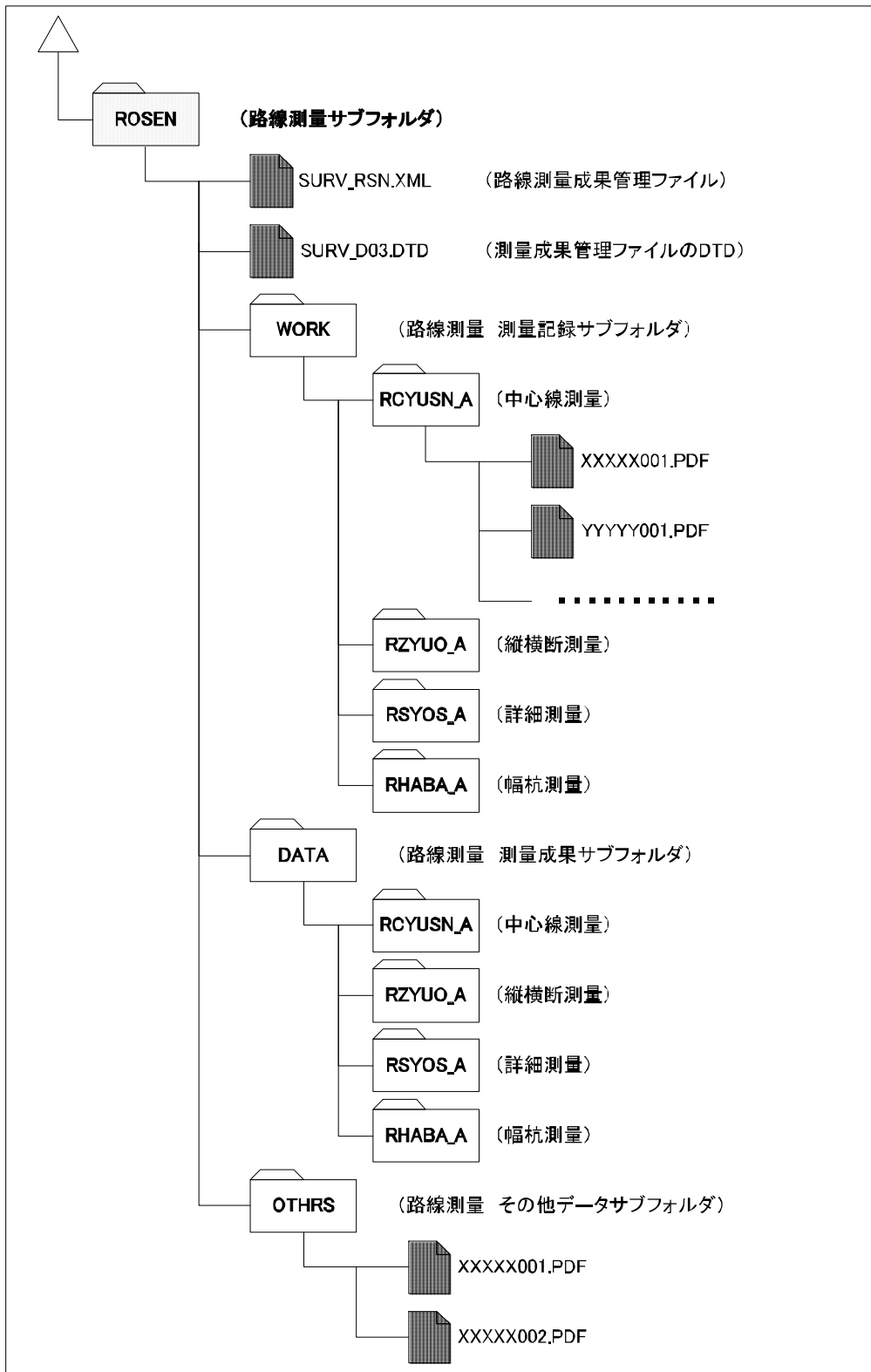


図 2-5 「ROSEN」サブフォルダ構成

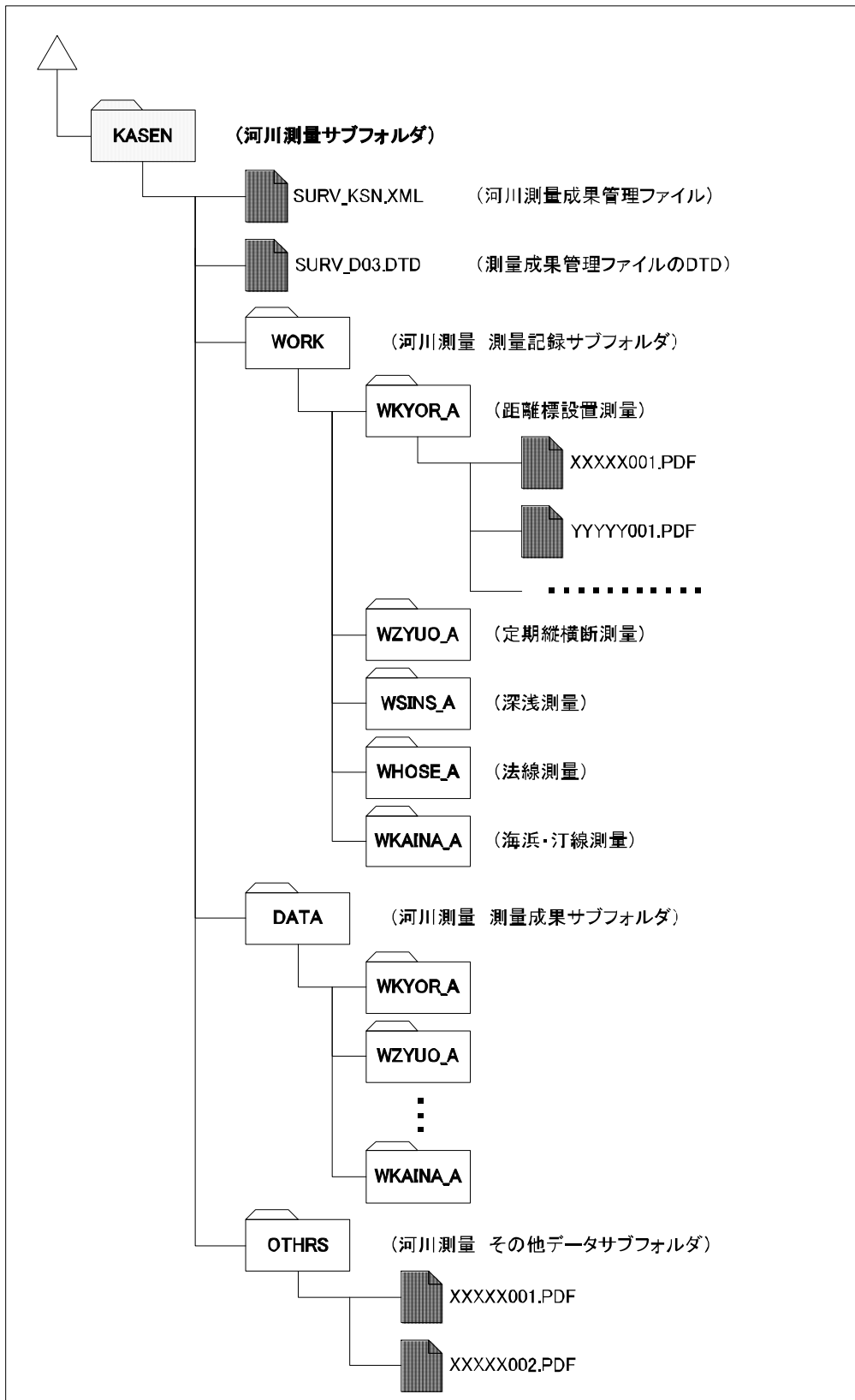


図 2-6 「KASEN」サブフォルダ構成

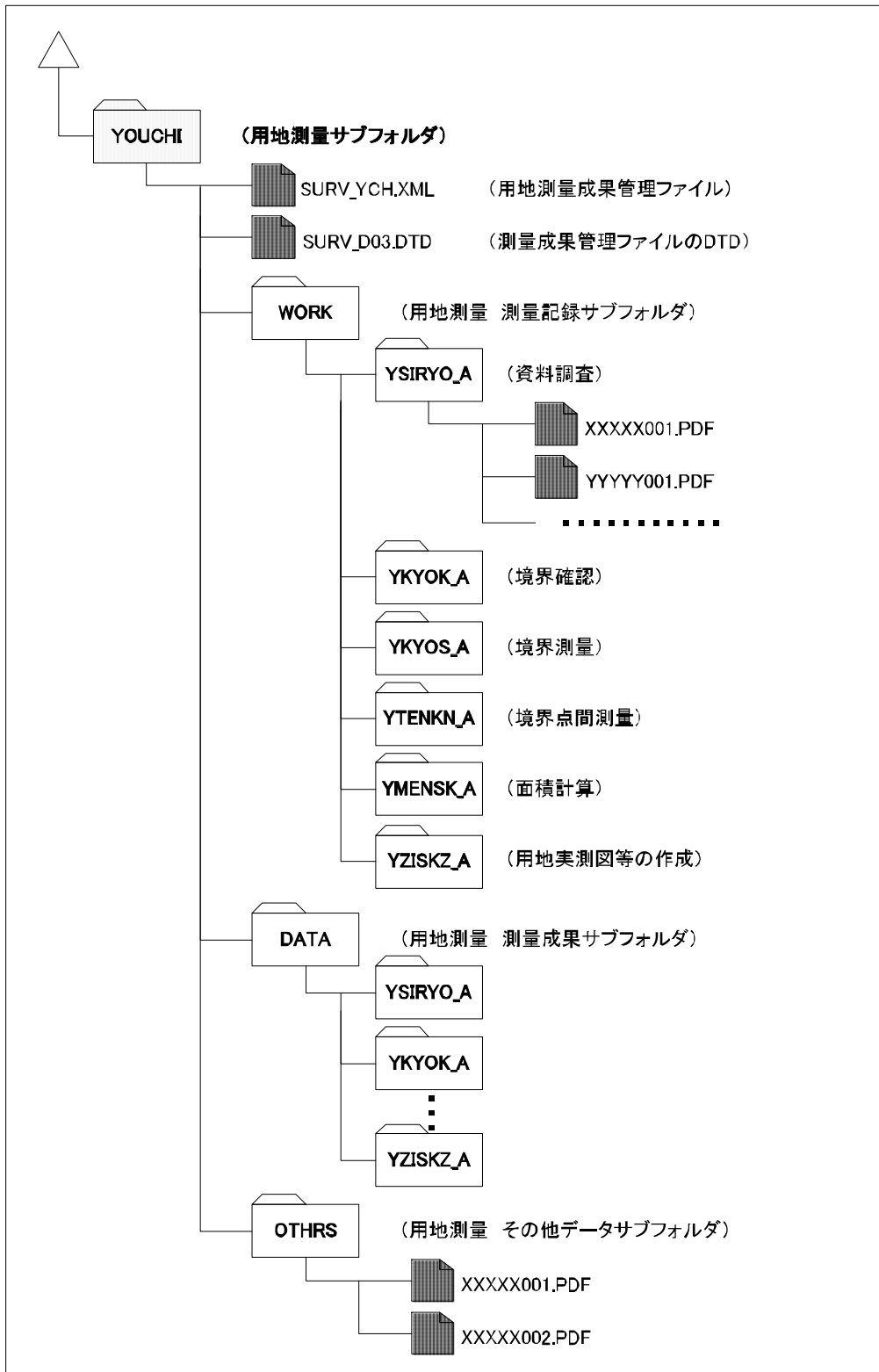


図 2-7 「YOUCHI」サブフォルダ構成

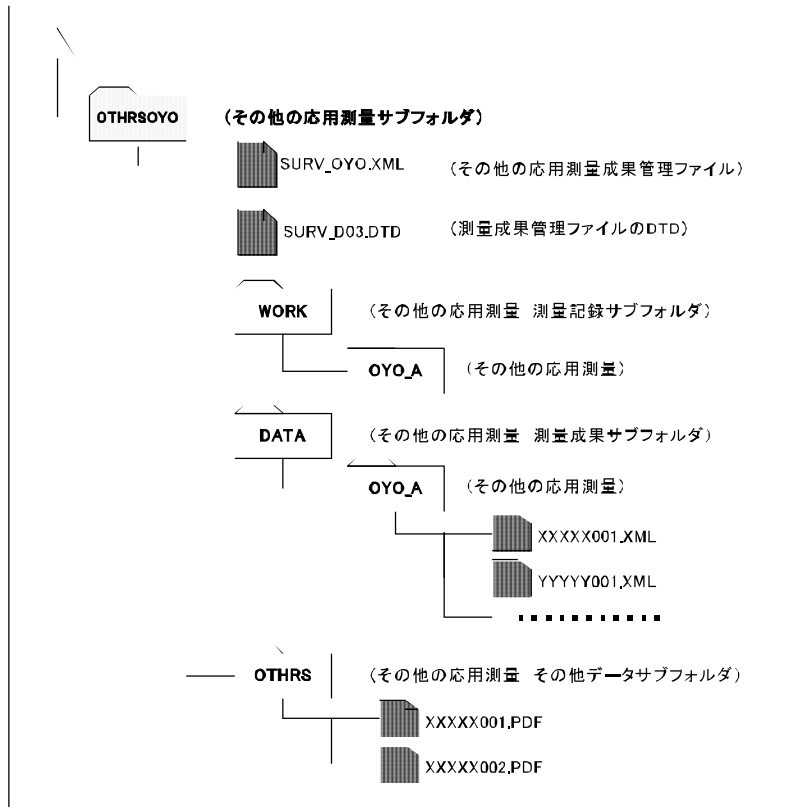


図 2-8 「OTHRSOYO」サブフォルダ構成

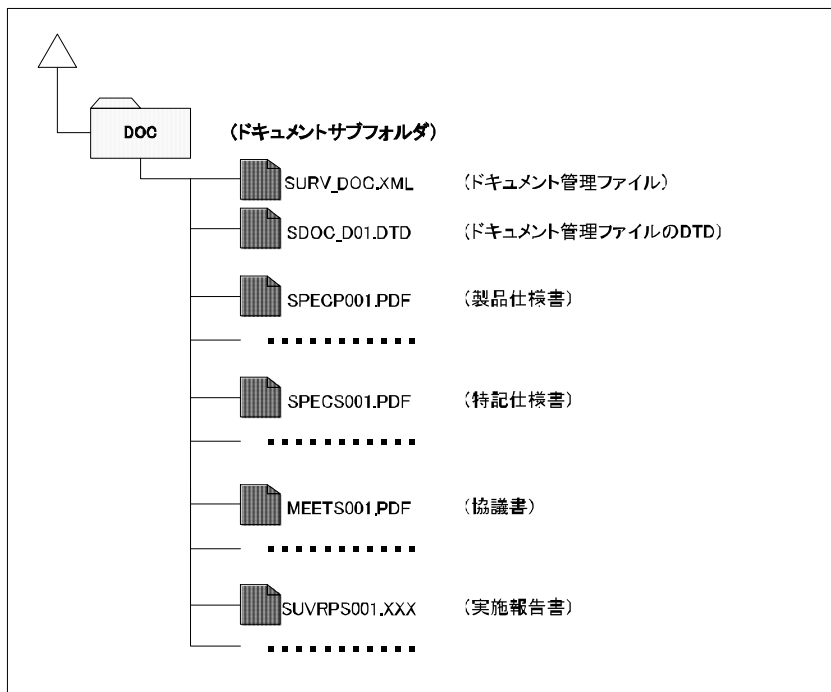


図 2-9 「DOC」サブフォルダ構成

表 2-3 測量成果の成果区分一覧

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
基準点測量	測量記録	基準点測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、観測記録簿、観測記録簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、基準点網図、平均図、観測図、精度管理表、点検測量簿、埋標手簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書、測量標新旧位置明細書、GPS 観測記録簿	基準点測量 注 1)
	測量成果	基準点測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記、点の記(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GPS 観測スケジュール表、衛星配置図、GPS 基準局配置図	
水準測量	測量記録	水準測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表、点検測量簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書、測量標新旧位置明細書	水準測量 注 1)
	測量成果	水準測量	観測成果表、観測成果表(数値データ)、平均成果表、平均成果表(数値データ)、点の記、点の記(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書	
地形測量及び写真測量	測量記録	現地測量	—	現地測量 (基準点の設置) 注 2)
			測定位置確認資料、細部測量精度管理表	現地測量 (細部測量)
			数値編集精度管理表	現地測量 (数値編集)
	撮影		標定点成果表、標定点配置図、水準路線図、標定点測量簿、標定点測量簿(数値データ)、同明細簿、精度管理表	空中写真測量 (標定点の設置)
			対空標識点明細票、対空標識点一覧図、精度管理表	空中写真測量 (対空標識の設置)

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			数値写真、サムネイル画像、撮影記録、撮影諸元、標定図、同時調整成果表(外部標定要素成果表)、精度管理表(撮影コース別)、精度管理表(撮影ロール別)、GPS/IMU 計算精度管理表、GPS 基準局観測記録簿、空中写真数値化作業記録簿及び点検記録簿	空中写真測量(撮影)
			刺針点一覧図、精度管理表	空中写真測量(刺針)
		空中三角測量	外部標定要素成果表、パスポイント・タイポイント成果表、空中三角測量作業計画・実施一覧図、写真座標測定簿、調整計算簿、精度管理表	空中写真測量(空中三角測量)
		数値図化	精度管理表(数値図化)、精度管理表(地形補備測量)	空中写真測量(数値図化)
			精度管理表(数値編集)	空中写真測量(数値編集)
			精度管理表(現地補測)、精度管理表(補測編集)	空中写真測量(補測編集)
			精度管理表	空中写真測量(数値地形図データファイルの作成)
		既成図数値化	精度管理表	既成図数値化
		修正測量 注3)	精度管理表	修正測量
		写真地図作成	精度管理表	写真地図作成
		航空レーザ測量	航空レーザ計測作業計画、航空レーザ測量システム点検記録	航空レーザ測量(作業計画)
			G 基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)、水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)、GPS 基準局明細表	航空レーザ測量(GPS 基準局の設置)
			GPS 衛星の配置などを記載した手簿、記簿等の資料及び基線解析結果等を記載した精度管理表、衛星数及び PDOP 図、計測漏れの点検図、航跡図、航空レーザ計測記録	航空レーザ測量(航空レーザ計測)
			調整用基準点の配点図、調整用基準点明細表	航空レーザ測量(調整用基準点の設置)
	三次元計測データ、三次元計測データ点検表、調整用基準点調査表、コース間点検箇所残差表、コース間点検箇所配点図、欠測率調査表	航空レーザ測量(三次元計測データ作成)		

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			調整用基準点残差表	航空レーザ測量 (オリジナルデータ作成)
			既存データ検証結果表、フィルタリング点検図、グラウンドデータ作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (グラウンドデータ作成)
			グリッドデータ点検図、グリッドデータ作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (グリッドデータ作成)
			—	航空レーザ測量 (等高線データ作成)
			格納データリスト、数値データファイル作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (数値データファイル作成)
			品質評価表	航空レーザ測量 (品質評価)
			作業記録、メタデータ	航空レーザ測量 (成果等の整理)
		地図編集	精度管理表	地図編集
		その他の地形測量及び写真測量	—	基盤地図作成 注4)
		測量成果		数値地形図データファイル、写真地図データファイル、位置情報ファイル、数値地形モデルファイル、オリジナルデータ、グラウンドデータ、グリッドデータ、水部ポリゴンデータ、等高線データ、基盤地図情報又は基盤地図情報を含む数値地形図データ、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト
その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、GPS基準局配置図、撮影作業日誌、カメラキャリブレーションデータ、航空レーザ計測作業日誌、ファイル説明書	—	
路線測量	測量記録	中心線測量	計算簿	線形決定
			観測手簿、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	条件点の観測
			計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	IP設置測量

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称		
			成果等	測量細分類	
			計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	中心線測量	
		縦横断測量	観測手簿、水準路線図、平均図、精度管理表	仮 BM 設置測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	縦断測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	横断測量	
		詳細測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	詳細測量	
		幅杭測量	計算簿、計算簿(数値データ)、杭打図、精度管理表	用地幅杭設置測量	
	測量成果	中心線測量		線形図データファイル	線形決定
				成果表、成果表(数値データ)	条件点の観測
				点の記	IP 設置測量
				線形地形図データファイル、引照点図、点の記	中心線測量
		縦横断測量		成果表、成果表(数値データ)、点の記、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	仮 BM 設置測量
				成果表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	縦断測量
				横断面図データファイル	横断測量
		詳細測量		成果表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、横断面図データファイル、詳細平面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	詳細測量
		幅杭測量		品質評価表、メタデータ	用地幅杭設置測量
		その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図	—
		河川測量	測量記録	距離標設置測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表
	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表			水準基標測量	
定期縦横断測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表、業務報告書		定期縦断測量		

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表、業務報告書	定期横断測量
		深浅測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)	深浅測量
		法線測量	観測手簿、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	法線測量
		海浜・汀線測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表 観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)	海浜測量 汀線測量
測量成果	距離標設置測量		成果表、成果表(数値データ)、点の記、距離標位置情報整理表、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	距離標設置測量
			成果表、成果表(数値データ)、点の記、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	水準基標測量
	定期縦横断測量		測量成果整理表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	定期縦断測量
			測量成果整理表、成果表(数値データ)、横断面図データファイル	定期横断測量
	深浅測量		横断面図データファイル、縦断面図データファイル、等高・等深線図データファイル	深浅測量
	法線測量		線形図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	法線測量
	海浜・汀線測量		等高・等深線図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	海浜測量
			汀線図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	汀線測量
	その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図	—
	用地測量	測量記録	資料調査	公図等転写連続図、地積測量図転写図、土地調査表、建物の登記記録等調査表、権利者調査表
		境界確認	観測手簿	復元測量

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			土地境界立会確認書、公共用地境界確定協議の申請書・確定図	境界確認
		境界測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、測量計算簿等、測量計算簿等(数値データ)	境界測量
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、基準点網図データファイル、精度管理表	補助基準点の設置
			計算簿、計算簿(数値データ)	用地境界仮杭設置
			計算簿、計算簿(数値データ)	用地境界杭設置
		境界点間測量	観測手簿、精度管理表、精度管理図	境界点間測量
		面積計算	—	面積計算
		用地実測図等の作成	精度管理表	用地実測図データファイルの作成
	精度管理表		用地平面図データファイルの作成	
	測量成果	資料調査	—	資料調査
		境界確認	復元箇所位置図データファイル	復元測量
			—	境界確認
		境界測量	成果表、成果表(数値データ)	境界測量
			成果表、成果表(数値データ)	補助基準点の設置
成果表、成果表(数値データ)、設置箇所位置図データファイル			用地境界仮杭設置	
成果表、成果表(数値データ)、設置箇所位置図データファイル			用地境界杭設置	
境界点間測量		—	境界点間測量	
面積計算		面積計算書、面積計算書(数値データ)	面積計算	
用地実測図等の作成		用地実測図データファイル、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト	用地実測図データファイルの作成	
	用地平面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト	用地平面図データファイルの作成		

測量 区分	成果 区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
	その他 データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図、既知点検測の観測手簿・計算書・検測図	—
その他 の 応用 測量	測量 記録	その他の応用 測量	—	その他の応用測 量
	測量 成果	その他の応用 測量	主題図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他 データ		その他の資料	
ドキュメント			製品仕様書、特記仕様書、協議書、実施報告書	—

- 注 1) 復旧測量は、基準点測量、水準測量の各フォルダに格納する。
- 注 2) 現地測量の基準点の設置は、基準点測量の成果として格納する。
- 注 3) 修正測量は、測量手法により、「現地測量(CG*)」、「図化(CZ*)」等に格納する。
- 注 4) 基盤地図情報作成は、測量手法により、地形測量及び写真測量の各フォルダに格納する。

3 成果品の管理項目

3-1 測量情報管理項目

測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)には、表 3-1に示す測量情報管理項目を記入する。

表 3-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した 香川県が適用した区 の要領の版(「十八200812-01」で固定)を記入する。 (分野：土木、西暦年：2008、月：12、版：01)	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号(承認番号)	公共測量実施計画に対する国土地理院からの「助言番号(承認番号)」を記入する。ただし、該当しない場合は「99999999(8桁)」を記入する。	半角英数字	8	L	◎	
	作業規程名	当該測量の基となった作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	L	◎	
	製品仕様書 ※6	製品仕様書名	当該測量の基となった製品仕様書又は作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	L	◎
		製品仕様書ファイル名	製品仕様書のファイル名を記入する。対応する製品仕様書のファイルが複数ある場合は、繰返し記入する。	半角英数 大文字	12	□	◎
	第三者機関成果検定の有無	第三者機関による成果検定の実施の有無を、0又は1のコードで記入する。(0：なし、1：あり)	半角数字	1固定	□	◎	
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称(KITENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5固定	▲	○	
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称(SUIJUNで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6固定	▲	○	
	地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名	地形測量及び写真測量成果を格納するフォルダ名称(CHIKEIで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6固定	▲	○	
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称(ROSENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5固定	▲	○	
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称(KASENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5固定	▲	○	
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称(YOUCHIで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6固定	▲	○	
	その他の応用測量成果格納用フォルダ名	その他の応用測量成果を格納するフォルダ名称(OTHRSOYOで固定)を記入する。	半角英数 大文字	8固定	▲	○	
ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称(DOCで固定)を記入する。	半角英数 大文字	3固定	▲	○		

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
場所情報 ※1	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎	
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	○	
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域又は測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○ ※2
		東側境界座標経度	対象領域又は測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
		北側境界座標緯度	対象領域又は測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
		南側境界座標緯度	対象領域又は測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
		平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2	□	
	西側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	○ ※2	
	東側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□		
	北側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□		
南側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□			
測量情報 ※3	測量区分	本要領に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	□	◎	
	測量細区分	本要領に規定する「測量細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	□	◎	
	測量記録フォルダパス名	測量記録のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	□	○ ※4	
	測量成果フォルダパス名	測量成果のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	□	○ ※4	

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
	その他データフォルダ パス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	□	○ ※4
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。(※測量区域番号に記されたものの中から選択する。)	半角数字	2	□	◎
	等級精度	等級	半角数字	2	□	◎ ※5
	地図情報レベル	測量成果等の地図情報レベルを記入する。	半角数字	32	□	
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	1 固定	□	○
	解像度	測量成果等の解像度を記入する。 (単位：m)	半角数字	7	□	○
	新規修正区分	対象測量の新規測量か修正測量かの区分を記入する。	半角数字	1 固定	□	○
	面積	測量範囲の概略の面積を記入する。 (単位：km ²)	半角数字	6	□	○
	距離	測量延長距離の概数 単位：km	半角数字	6	□	○
	点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4	□	○
	モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	半角数字	4	L	○
検定情報	測量成果検定証明書等のファイル名	測量成果検定証明書等のファイル名をパスを含めて記入する。測量成果検定証明書等のファイルの数だけ繰り返して記入する。(例：SURVEY/KITEN/OTHS/KOTJ2nnn.PDF)	半角英数字 大文字	64	L	○
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	L	△
	ソフトウェア用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 ◎：必須記入項目 ○：条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
△：任意記入項目

※1：本測量作業の対象となった測量区域の数だけ繰り返して記入する。(例：3 箇所が測量実施対象→3 回繰り返す)

※2：緯度経度、又は平面直角座標のどちらか又は双方を記入する。

※3：本測量作業で行われた測量種類を「測量細区分」の単位(測量実施場所が異なる場合は別物とする)で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

※4：当該測量細区分の成果が「測量記録」、「測量成果」、「その他データ」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。

※5：等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。

※6：製品仕様書の数だけ繰り返して記入する。

【解説】

(1) 適用要領基準

本要領に従い、土木分野において、測量の電子成果品を作成した場合は、「土木 200812-01」を記入する。

なお、業務管理ファイルにおける適用要領基準には、**香川県が準用している国土交通省の上木設計業務等の電子納品要領(案)[H20.05]**に従った場合は、「上木 200805-01」となっている。業務管理ファイルにおける適用要領基準は、適用した上木設計業務等の電子納品要領(案)の規定内容に従う。

(2) 助言番号(承認番号)

公共測量実施計画の届出を行い、国土地理院、地方測量部等から発行された番号「助言番号」若しくは「承認番号」を記入する。ただし、該当しない場合は「99999999(8桁)」を記入する。

例：助言番号(承認番号)

→ H20D0003、H20C0052 等

また、文書番号から助言番号(承認番号)への記入方法は表 3-2のとおりとする。

例：国地道公発第 226 号

平成 20 年 ○ 月 ○ 日

平成 20 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H20A0226

表 3-2 略称記号と助言番号(承認番号)の対象

略称記号	文書番号	名 称	略称記号	文書番号	名 称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

(3) 作業規程名

当該測量作業の基となった作業規程名を記入する。

例：作業規程名

→ **香川県公共測量作業規程 (平成 21 年 4 月)**

(4) 製品仕様書

1) 製品仕様書名

当該測量作業の基となった製品仕様書名を記入する。

例：製品仕様書名

→ 地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案) 国土地理院技術資料 A・1-No.295-1

2) 製品仕様書ファイル名

ドキュメントフォルダに格納した製品仕様書ファイル名を記入する。

(5) 第三者機関成果検定の有無

当該測量作業の第三者機関による成果検定の実施の有無を、次より選択して記入する。

- ・第三者機関検定を実施しない場合：0
- ・第三者機関検定を実施する場合：1

(6) 測量区域番号・測量区域名称

測量区域が複数にわたる場合、実際に測量を行った区域毎に区域番号を割り当てる。区域番号は「1」より開始する。

割り当てられた測量区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。なお、測量区域名称には、地名(行政名：市町村名、地区名等、測量区域を特定できるもの)を記入する。

(7) 区域情報

区域情報は、「境界座標」、「平面直角座標」のいずれかを必ず記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。区域情報は、「平面直角座標」による記入が最も望ましい。

例：西側境界座標経度が「138度37分30秒」の場合

→ 1383730

(8) 測量区分

測量区分の名称は、表 3-3より選択して記入する。

表 3-3 測量区分とサブフォルダ名の対応

測量区分名称	測量サブフォルダ名
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRSOYO

(9) 測量細区分

測量細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。公共測量作業規程に規定する測量分類とは異なるので注意する(「2-2 サブフォルダ構成」参照)。

測量細区分は、測量区域及び等級・精度で区分するもので、末尾の英数字は A～Z, 1～9 の順に使用し、該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例 1：基準点測量で単独の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量」と記入する。(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

基準点測量で複数の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量 A」、「基準点測量 B」と記入する。

(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A、KTN_B)

例 2：複数区域(A,B,C)及び複数等級・精度(1,2 級)が混在する場合、地区を優先とする

基準点測量 A A 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

基準点測量 B A 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_B)

基準点測量 C B 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_C)

基準点測量 D B 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_D)

基準点測量 E C 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_E)

基準点測量 F C 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_F)

(10) 測量記録・測量成果・その他データフォルダパス名

測量成果等が収められた測量記録フォルダ、測量成果フォルダ、及びその他データフォルダ以下のフォルダパス名を記入する。格納する成果等がない場合は、記入しない。

記入方法は以下に従う。

- フォルダ階層表示は「/」で区切る。

- バスの書出しは「SURVEY」とする。

例 1：水準測量の場合

→SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A

例 2：地形測量の一連の測量作業によって最終的に数値地形図データファイルを作成し測量成果サブフォルダに格納した場合

→SURVEY/CHIKEI/DATA

例 3：河川測量の定期縦断測量を行い、縦断図データファイルを測量成果サブフォルダに格納した場合

→SURVEY/KASEN/DATA/RZYUO_A

例 4：用地測量で測量機器検定証明書をその他データサブフォルダに格納した場合

→SURVEY/YOUCHI/OTHR

(11) 等級精度

等級精度については、「等級」又は「地図情報レベル」のどちらか一方を必ず記入する。「等級」及び「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合は、いずれかに「99」を記入する。

1) 等級

基準点測量、水準測量において表される等級については、表 3-4に示すコード(半角数字 2 桁)を選択し、記入する。目的別に設置された基準点の場合、相当する等級を確認の上、そのコードを記入する。

表 3-4 等級コード一覧

基準点測量				水準測量			
測量レベル (基本測量)	コード	測量レベル (公共測量)	コード	測量レベル (基本測量)	コード	測量レベル (公共測量)	コード
電子基準点	10	-	-	1 等水準	11	1 級水準	21
1 等基準点	11	1 級基準点	21	2 等水準	12	2 級水準	22
2 等基準点	12	2 級基準点	22	3 等水準	13	3 級水準	23
3 等基準点	13	3 級基準点	23	-	-	4 級水準	24
4 等基準点	14	4 級基準点	24	-	-	簡易水準	25

*基本測量：基本測量とは、すべての測量の基礎となる測量で、国土地理院の行うものをいう。

*公共測量：公共測量とは、基本測量以外の測量のうち、小道路若しくは建物のため等の局地的測量又は高度の精度を必要としない測量で、政令で定めるものを除き、測量に要する費用の全部若しくは一部を国又は公共団体が負担し、若しくは補助して実施するものをいう。

2) 地図情報レベル

測量成果の縮尺レベルを記入する。

例 1 : 1/2,500 地形図の場合

→2500

例 2 : 1/12,500 空中写真撮影の場合

→12500

例 3 : 地図情報レベルが混在(地形図 1/500、1/1,000)の場合

→「測量情報」の単位で管理項目を 2 回繰り返し、「地図情報レベル」に「500」、「1000」をそれぞれ記入

例 4 : 「等級」、「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合

→「等級」、「地図情報レベル」のいずれかに「99」を記入

(12) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を 表 3-5 に示すコード(半角数字 1 桁)を選択し、記入する。

表 3-5 画像種別コード一覧

画像種別	コード	画像種別	コード
白黒	1	カラー	2

(13) 解像度

デジタルオルソ等、測量成果の解像度を記入する。

- デジタルオルソ 25 cm の場合 →0.25(m 単位で記入)
- DEM 25 m の場合 →25 (m 単位で記入)

(14) 新規修正区分

対象測量について、新規測量、修正測量、定期測量の区分を 表 3-6 に示すコード(半角数字 1 桁)を選択し、記入する。

表 3-6 新規修正区分コード一覧

区分	コード	区分	コード	区分	コード
新規測量	1	修正測量	2	定期測量	3

例 1 : 測量作業規程における「修正測量」の場合

→2

例 2 : 測量作業規程における「定期縦断測量」、「定期横断測量」の場合

→3

(15) 面積

現地測量、撮影、図化について、対象となった範囲の概略面積(実施数量)を記入する(単位:k m²)。

(16) 距離

水準測量について、測量延長距離の概数を記入する(単位:km)。

(17) 点数

基準点測量について、当該基準点の点数を記入する。(与点の数は除く。)

(18) モデル数

空中三角測量における、モデルの数を記入する。

(19) 測量成果検定証明書等のファイル名

測量成果検定証明書等のファイル名を、パスを含めて記入する。

例：基準点測量の測量成果検定証明書等

→ SURVEY/KITEN/OTHR/S/KOTJ2nnn.PDF

3-2 測量成果管理項目

測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML、SURV_OYO.XML)には、表 3-7に示す測量成果管理項目を記入する。

表 3-7 測量成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
測量成果情報 ※1	測量区分フォルダ名	「測量区分」のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8	□	◎	
	測量成果区分フォルダ名	測量成果区分(測量記録、測量成果、その他データ)のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8	□	◎	
	測量細区分フォルダ名	「測量細区分」のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8	□	○	
	測量成果名称	測量成果等の名称を記入する。 (例：精度管理表、視測手簿等)	全角文字 半角英数字	64	□	◎	
	測量成果ファイル形式	測量成果等のファイル形式を記入する。	半角英数字	12	□	◎	
	測量成果レコードフォーマット	測量成果等のレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△	
	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果等のファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	○	
	成果ファイル情報 ※2	測量成果ファイル名	測量成果等のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字	12	□	◎
		測量成果ファイル名副題	測量成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入する。 製品仕様書に定められているファイル名や国土基本図図郭に準じたファイル名などを記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	○
		XML スキーマファイル名※3	当該測量成果において参照するXMLスキーマファイル名を記入する。複数のXMLスキーマを参照する場合は、ファイルの数だけ繰り返し記入する。	半角英数 大文字	12	□	○
コードリストファイル名※3		当該測量成果において参照するコードリストファイル名を記入する。複数のコードリストを参照する場合は、ファイルの数だけ繰り返し記入する。	半角英数 大文字	12	□	○	
	メタデータファイル名	当該測量成果のメタデータファイル名を記入する。	半角英数 大文字	12	□	○	
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△	
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△	
	ソフトウェア用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目
 ▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ◎：必須記入項目 ○：条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 △：任意記入項目

※1：格納されている成果等の種類(成果表、点の記、精度管理表、…)の数分だけ繰り返し記入する。

※2：成果ファイル情報については、成果等の数だけ繰り返し記入する。

※3：XML スキーマファイル名、コードリストファイル名は、当該測量成果を JPGIS 準拠形式で作成した場合にのみ記入する。参照する XML スキーマ、コードリストが複数ある場合は、繰り返し記入する。

【解説】

(1) 測量区分フォルダ名

「測量区分」のフォルダ名を表 3-8より選択して記入する。

表 3-8 測量区分フォルダ名称一覧

測量区分	フォルダ名称
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRSOYO

(2) 測量成果区分フォルダ名

測量作業の途中段階である測量記録(観測手簿、観測記簿等)と、最終的な測量成果(成果表、数値地形図データファイル等)、及びその他データ(各種証明書、説明書等)に分類して格納するためのサブフォルダ名を記入する。

- 測量記録……………「WORK」
- 測量成果……………「DATA」
- その他データ……「OTHR」

(3) 測量細区分フォルダ名

測量細区分フォルダ名は、表 2-2に示すように実施した測量作業(撮影、空中三角測量等)に加え、測量地域又は測量の等級・地図情報レベルに応じて、A～Z, 1～9の記号によって補助的に区分した測量細区分サブフォルダ名を記入する。

(4) 測量成果名称

表 4-1～表 4-7に従い、測量成果等の名称を記入する(例:精度管理表、観測手簿、点の記等)。

(5) 測量成果ファイル形式・測量成果レコードフォーマット

測量成果等のファイル形式を記入する。また、測量成果レコードフォーマットの名称又は準拠した仕様等の説明を記入する。

『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DM」「XML」「JPG」「DOC」等、ファイルの拡張子を記入する。

『測量成果レコードフォーマット』:特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略する。

例 1: 公共測量作業規程

例 2: JPGIS 準拠の XML 形式

例 3: 河川局独自形式

例 4: カンマ区切りの TXT 形式

例 5: ワールドファイル仕様の TXT 形式

(6) 測量成果ファイル名

ファイル命名規則に従い命名した成果等のファイル名を記入する(拡張子含む)。

(7) 測量成果ファイル名副題

測量成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入する。

製品仕様書に定められているファイル名や国土基本図図郭に準じたファイル名などを記入する。

例 1: 点の記: 標識番号を付したファイル名

→ 4930-64-7201.PDF

例 2: 精度管理表: 地区名を付したファイル名

→ ○○地区精度管理表.PDF

例 3: 標準図式データファイル: 国土基本図図郭番号に準じたファイル名

→ 12MD3546.DM

例 4: XML スキーマ: 製品仕様書に基づくファイル名

→ KsjAppSchema-N02-v1_1.xsd

例 5: コードリスト: 製品仕様書に基づくファイル名

→ InstitutionTypeCd.xml, RailwayClassCd.xml

例 6: メタデータ: 製品仕様書に基づくファイル名

→ KS-META-N02-07.XML

(8) XML スキーマファイル名・コードリストファイル名

当該測量成果において参照する XML スキーマ、コードリストのファイル名を記入する。XML スキーマファイル名、コードリストファイル名は、当該測量成果を JPGIS 準拠形式で作成した場合にのみ記入する。参照する XML スキーマ、コードリストが複数ある場合は、繰り返し記入する。

(9) メタデータファイル名

当該測量成果のメタデータファイル名を記入する。